

活動報告

団 体 名	災害ボランティア 愛・知・人
活 動 名	8月豪雨の被災者のための家屋復旧支援活動
活動期間	2022/10/01～2021/11/17
活動の成果	成果：応急復旧戸数 91 件 住民さんの多くは、2 年前にも被害にあっており廃棄される家具も新しいものが多く、また新築して数か月というお宅もあり、心が痛む思いでした。金銭的な負担もさることながら、精神的にもかなりの負担を抱えている住民のお話をよく聴き、今後どうされたいかのご意向を伺い、後に入る大工さんや業者さんとも打合せしながら、家主さんの負担が少なく済むように、どこまでをボランティアでやるのかなどを決めて作業を進めました。その結果、リフォーム代や解体費を少なく押さえることができました。 また、エアコンの応急処置は、酷暑の中命にかかわることでもあり大変喜んで頂けました。 本州からのメンバーが集まりにくい中、昨年発足した、熊本県の姉妹団体「九州・仁」メンバーと協働。 昨年の芦北町支援から 1 年で、メンバーの技術も高まりとても頼りになったことは、今後の九州での災害対応の体制づくりができてきたと思います。 また熊本県内の大学生グループに声がけして来ていただき、若い世代にも技術の伝承ができました。 課題 ・コロナ禍ということと、愛知や関東方面からは遠方の為、メンバーが集まりづらく交通費もかさみました。 ・10 月初旬までは、長期滞在のメンバーが常駐していましたが、その後は週末メインの活動で時間が限られたため、もう少しやっておきたいと心残りに思う場面がありました。
寄付者へのメッセージ	地元団体 SPF さんが県外ボランティア受入れに対して迅速に対応頂き、早い時期から体制が整い支援を開始することができました。武雄市は 2 年前にも被害にあっているお宅がほとんどで、新築間もない家やリフォームがやっと完成したところでの再度の被災。落胆ぶりは相当なものでしたが、私達の作業が進むにつれ、少しずつ笑顔が戻っていきました。コロナ禍でボランティアも少ない中、2 か月半の活動でしたが、皆様からのご寄付で何度も九州まで向かうことができました。ご支援ありがとうございました。

(活動のようす)

